

令和4年4回小金井市教育委員会定例会議事日程

令和4年4月12日（火）

午後1時30分開会

開催日時	令和4年4月12日	開会 閉会	1時30分 2時26分	
場 所	第二庁舎8階 801会議室			
出席委員	教 育 長 教育長職務 代理者	大熊 雅士 浅野 智彦	委 員 委 員 委 員	小山田佳代 佐島 規 穂坂 英明
欠席委員				
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 生涯学習部長 庶務課長 学務課長 指導室長 統括指導主事 指導主事	大津 雅利 梅原啓太郎 鈴木 功 本木 直明 加藤 治紀 丸山 智史 向井隆一郎	生涯学習課長 スポーツ振興担当課長 図書館長 公民館長 庶務課庶務係長	関 次郎 中島 憲彦 内田 雄介 鈴木 遵矢 小平 文洋
調 製				
傍聴者人数	2名			

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	代処第 1 3 号	小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則
第 3	代処第 1 4 号	小金井市教育委員会教育長事務決裁及び専決規程の一部を改正する規程
第 4	代処第 1 5 号	小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程
第 5	代処第 1 6 号	学校運営協議会委員の委嘱に関する代理処理について
第 6	議案第 1 3 号	小金井市文化財保護審議会委員の委嘱について
第 7	報 告 事 項	1 令和 4 年度学級編制について 2 寄附の収受について 3 小・中学校教育管理職及び教員の異動について 4 教育課程の届出報告について 5 その他 6 今後の日程

大熊教育長 ただいまから令和4年第4回小金井市教育委員会定例会を開催する。

日程第1、会議録署名委員の指名である。

本日の会議録署名委員は、浅野教育長職務代理者と小山田委員にお願いする。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

大熊教育長 次に、日程第2、代処第13号、小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則、日程第3、代処第14号、小金井市教育委員会教育長事務決裁及び専決規程の一部を改正する規程及び日程第4、代処第15号、小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程を議題とするところだが、円滑な議事進行を図るため、以上3件については一括議題としたいと思う。

これについて御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 異議なしと認める。日程第2から第4までについては、一括議題とすることに決定した。

それでは、提案理由の説明をお願いします。

大津学校 提案理由について御説明する。

教育部長 代処第13号から第15号については、小金井市教育委員会事務局組織規則、小金井市教育委員会教育長事務決裁及び専決規程並びに小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する必要が生じたが、本件は、教育委員会の議決すべき事項で、教育委員会を開催する時間的余裕がなかったことから、小金井市教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づく代理処理をしたことについて、同条第2項の規定により、その承認を求めるものである。

細部については、庶務課長から説明するので、よろしく御審議の上、御承認賜るようお願い申し上げます。

鈴木庶務課長 では、細部について御説明する。

 いずれも、令和4年4月1日から、「オリンピック・パラリンピック兼スポーツ振興担当課長」を「スポーツ振興担当課長」に変更することに伴う規程の整備である。

 整備内容について、御説明する。

 初めに、代処第13号資料の新旧対照表を御覧いただきたい。第3条の2中の職名と別表の所掌事務を変更している。

 次に、代処第14号資料の新旧対照表を御覧いただきたい。第9条中の名称と専決事案を変更している。

 最後に、代処第15号資料の新旧対照表を御覧いただきたい。別表1及び別表2の名称を変更している。

 説明については以上となる。よろしく御審議の上、御議決賜るようお願い申し上げます。

大熊教育長 本件に関し、質問、御意見はあるか。

 これは、東京2020オリンピック・パラリンピックが終わったことにより、役職名が変更となるものである。

 以上で質疑を終了する。

 それでは、採決を行うが、採決については、1件ずつお諮りすることとする。

 それでは、お諮りする。代処第13号、小金井市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則については、原案どおり承認することに御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 御異議なしと認める。本件については、原案どおり承認することに決定した。

 お諮りする。代処第14号、小金井市教育委員会教育長事務決裁及び専決規程の一部を改正する規程については、原案どおり承認することに御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 御異議なしと認める。本件については、原案どおり承認すること

と決定した。

お諮りする。代処第15号、小金井市教育委員会公印規程の一部を改正する規程については、原案どおり承認することに御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 御異議なしと認める。本件については、原案どおり承認することに決定した。

次に、日程第5、代処第16号、学校運営協議会委員の委嘱に関する代理処理について議題とする。

提案理由の説明をお願いします。

大津学校 提案理由について御説明する。

教育部長 本件については、学校運営協議会委員の委嘱手続をする必要が生じたが、本件は教育委員会の議決すべき事項で、教育委員会を開催する期間的余裕がなかったことから、小金井市教育委員会教育長に対する事務委任規則第4条第1項の規定に基づき、代理処理をしたことについて、同条第2項の規定により、その承認を求めるものである。

細部について、指導室長から説明するので、よろしく御審議の上、御承認賜るようお願い申し上げます。

加藤指導室長 それでは、細部について御説明をする。別紙資料を御覧いただきたい。

令和4年第3回教育委員会定例会において、小金井第三小学校、小金井第四小学校、東小学校、緑小学校、南小学校、小金井第一中学校の学校運営協議会委員について、議案を提出させていただいたところであるが、令和4年4月1日付けで、校長及び副校長の人事が確定したことを受け、前述の6校に加え、校長・副校長の人事異動もあつた前原小学校、南中学校の各校長・副校長への学校運営協議会委員の委嘱について、代理処理を行ったことから、報告するものである。

説明は以上である。

大熊教育長 本件に関し、質問、御意見等はあるか。

佐島委員 小金井市の教育委員として、初めて参ったので、小金井市の学校運営協議会、コミュニティ・スクールの状況について、お伺いしたい。

平成29年3月に地方教育行政法の一部改正によって、学校運営協議会の設置が努力義務化されているところだが、小金井市の小・中学校の地域運営学校の進捗状況、何校ぐらい進んでいるのかというのと、今後、何年度までに全校の実施を予定しているのかお伺いしたい。

また、コミュニティ・スクールは、教員の異動について、公募によって行うことができ、希望する人材を入れるということが可能になってくるが、今年度の異動に関して、コミュニティ・スクールの公募を活用したような異動の状況があったのか教えていただきたい。

加藤指導室長 それでは、本市のコミュニティ・スクールの状況について、御説明する。

本市、小・中学校合わせて14校あるが、まず、最初にコミュニティ・スクールの指定となったのが、令和2年度に緑小学校1校である。昨年度、令和3年度に3校を追加で指定している。

令和4年4月1日から、5校が新しく指定され、14校中9校が指定を受けたという状況である。

今後の見通しは、令和5年度に全校にコミュニティ・スクールを指定できるように目指している。

また、公募による異動については、公募数の資料が手元になく、詳細の数字をお伝えできないが、本市は、公募自体が非常に申込みの多い地区である。そのような状況の中、コミュニティ・スクール公募については複数件、確認している。

佐島委員 ありがとう。

大熊教育長 今、着々とコミュニティ・スクールを指定しているが、小山田委員、何かご意見ありますか。

小山田委員 今年度から9校ということで、段階的に増えていることは大変すばらしい。

しかし、学校運営協議会が設置されてまだ間もないこともあり、委員には学校運営連絡会とどのように異なる話し合いができるようになったかをご理解いただく必要があります、周知をしていただきたい。

また、地域学校共同活動について、前回の定例会でお伝えしたように、コーディネーターを是非学校運営協議会のメンバーに入ってもらいたければと思う。

学校運営協議会と地域学校協働活動とが両輪となることで、地域とともにある学校という本当のコミュニティ・スクールになっていくと思うので、推進していただけるよう、よろしく願います。

大熊教育長 コミュニティ・スクールになった場合、委員の研修はどうなっているか、説明して欲しい。

加藤指導室長 コミュニティ・スクールになった場合、委員がご指摘されたように、指定されたとしてもすぐに様々なことが動かせるわけではなく、委員の理解というものが、第一に必要である。

研修については、本年度は既に準備をしていて、動画等を活用した研修を実施することを教育委員会から学校に周知している。

また、新規5校が指定されたので、可能であれば第1回の会議には、指導主事等が顔を出してお話ができればと考えている。

大熊教育長 今の発言に対して、どうぞ。

小山田委員 学校運営協議会については、教育委員も傍聴のような形で伺えることから、日程が決まったら、お知らせいただきたい。

大熊教育長 日程をお伝えすることによろしいか。

加藤指導室長 はい。

大熊教育長 後日、伝えさせていただく。

これまでは手探りで進めてきたが、今年度指定された5校は、今

までの実績を踏まえて、今後、新しくできるようになること等を委員にも周知する研修を用意させていただく。よって、これまで以上に速やかに進んでいくのではないかと考えている。

以上で質疑を終了する。

それでは、お諮りする。代処第16号、学校運営協議会委員の委嘱に関する代理処理について、原案どおり承認することに御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 御異議なしと認める。本件に関しては、原案どおり承認することに決定した。

次に、日程第6、議案第13号、小金井市文化財保護審議会委員の委嘱について議題とする。

提案理由について、説明願う。

梅原生涯 提案理由について御説明する。

学習部長 本件については、小金井市文化財保護審議会委員が、令和4年5月10日をもって任期満了となることから、新たな委員を委嘱する必要があるため、本案を提出するものである。

細部については生涯学習課長から説明するので、よろしく御審議の上、御議決賜るようお願い申し上げます。

関生涯学習課長 第9期としての委員の候補者は、別紙のとおりである。

このたびは、6名の方全員が再任となる。

任期については、令和4年5月11日から令和6年5月10日までの2年間となる。

説明については以上である。

大熊教育長 何か質問、御意見はあるか。

以上で質疑を終了する。

それでは、お諮りする。議案第13号、小金井市文化財保護審議会委員の委嘱については、原案どおり可決することに御異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

大熊教育長 御異議なしと認める。本件については、原案どおり可決することに決定した。

次に、日程第7、報告事項を議題とする。順次担当から説明願う。
初めに、報告事項1、令和4年度学級編制について、報告願う。

本木学務課長 それでは、まず、報告事項第1、令和4年度学級編制状況について御報告する。

お配りしている資料を御覧いただきたい。表面が、令和4年度学級編制状況である。

前年度と比較すると、小学校では、国の方針を受け、本年度は3年生までが35人学級となっており、通常の学級で児童数が5,928人で、199人の増、学級数は186学級で、5学級増となっている。

中学校では、通常の学級では生徒数が2,184人で、51人増となり、学級数は64学級で、3学級増となっている。

通常学級の1学級平均児童・生徒数は、小学校では31.87人と、昨年度と比べ0.22人の増となっている。

中学校では34.13人と、昨年度と比べ0.84人の減となっている。

なお、中学校1年生の中1ギャップ加配は、全5校のうち、第一中学校、第二中学校、緑中学校、南中学校が該当となり、4校全てが学級規模縮小を選択し、チームティーチングの活用を選択した学校はなかった。

また、一番下の注意書きにある第三小学校の大規模化に対応する学区域調整に係る指定校変更については、希望により第三小学校から隣接校に変更できるもので、本年度も実施をしている。実績として、第一小学校へ13人、東小学校へ2人、緑小学校へ15人の計30人が指定校変更となった。

なお、昨年度から制度化した、部活動を理由とした中学校の指定校変更については、6人の生徒が本制度により変更となっている。

特別支援学級については、小学校では、児童数が59人で2人増、学級数は9学級で増減なし、中学校では、生徒数は37人で4人増、学級数は6学級で増減なしとなっている。

なお、児童・生徒数は、在籍者から学級編制算定対象外の者を控除した数値になっている。

次に、裏面の国立・私立学校等に入学した新1年生調べである。

小学校で、国立・私立、また、特別支援学校等に入学した方が79人いる。新1年生の全体の6.8%と、前年度より1.6ポイントの増となっている。

中学校で、国立・私立、特別支援学校等に入学した方は254人で、新1年生の全体の25.5%で、前年度より3.6ポイントの増となっている。

なお、都立一貫校へ入学した人数については、小学校については、今年初めて東京都立開設されましたが、小学校が5人、中学校は32人だった。参考までに、令和4年度通級指導学級の状況も掲載をした。詳細は表を御覧いただきたいと思う。

大熊教育長

何か御質問等はあるか。

浅野教育長
職務代理者

表面及び裏面の両方に質問したいのだが、1点目は、表面の学級編成状況についてである。

昨年度の見込数では、本町小学校の増大はここまで大きくなかったと記憶している。本町小学校の予想外の増加の背景について教えて欲しい。

また、生徒数の増加により学級数が増え、教室が足りなくなっているのではないかと懸念しているが、どのように対応しているのか。

さらに、本町小学校に限らず、現在、小学校の35人学級化を進めているが、増減数を見ると、逆風かと思うところがあるが、35人学級化の進捗状況はどのようになっているか教えて欲しい。

続いて裏面だが、中学校入学者のうち、市外に進学する方の比率が4%増大している。特に国立・私立等に進む方が、一昨年度比で34人と結構多く、この点をどのように考えているか、教えて欲しい。

本木学務課長

表面のご質問についてお答えする。本町小学校の増については、詳細な分析は出来ていないものの、大規模開発等があった認識はなく、国家公務員住宅の一部がこのエリアに入っていることから、公務員の異動等により、本町小学校に通学する児童・生徒が増えた可

能性がある。

本町小の学級数の増については、昨年まで5年生が2クラスという非常に少ない学年があった。その学年の人数が79人から今年82人となり、40人学級編成ではなく3クラス編成となったことから、学校も緊急に教室を確保するように努めた。

また、35人学級化の進捗状況は、来年度4年生が対象となる。また新1年生の数も恐らく、かなり多いことが想定されるので、特に児童・生徒数の多い第三小学校、第一小学校、東小学校は、それぞれ長寿命化の対策も含めながら、臨時の対応を検討するように教育委員会では考えているところである。

浅野教育長
職務代理者

念のため確認するが、本町小学校の教室対応は、問題なく対応できているのか。

本木学務課長

対応できている。本町小学校については、多目的に利用していた部屋を普通教室に転用する。年度中に予定している大きな工事については、夏休み中に実施する必要があるが、その間は臨時的に、ほかの教室を普通教室化にして対応した上で、支障なく過ごせるよう対応している。

浅野教育長
職務代理者

了解した。

本木学務課長

それでは、裏面のほうの国立・私立等に入学した新1年生調べについてである。

非常に分析しにくいのが、特に中学校は、市内の生徒は国立や私立に行かれる方々が多いことが、特色である。

昨年は、生徒数増や全体数増に比して、国立・私立等に入学した生徒が減少した。憶測ではあるものの、このことは、コロナ禍により電車での通学に不安を抱き受験を控える等の影響があった可能性がある。しかし、エビデンスがあるわけではないので、確定的なことが言えない。

あくまで私見だが、コロナ禍が続く中、段々とまた受験してみようという児童、保護者増えたことが考えられる。

浅野教育長 手元に数字がないので、確かなことは言えないが、この十数年で、
職務代理者 最も高い水準になっていると考えている。長期的な動向で考えたときに、これを一時的な傾向と見るか、上昇基調に乗りつつあると見るのか、気になっている。来年度以降も注視してみたい。

大熊教育長 25%というのは、4人に1人は私立か国立に行ってしまうという数字なので、今後も注目していきたい。理由は、個々で異なり一概には言えないと考えているが、数値を長期的に見る必要があるので、資料出したいと思うが、いかがか。

本木学務課長 理由については、各家庭へアンケートを取る必要があると考えている。

大熊教育長 理由ではなく、これまでの実績を出すことはできるか。

本木学務課長 過去の実績であれば、お示しできる。次回の教育委員会定例会に提出させていただきたく。

大熊教育長 よろしいか。では次回の教育委員会定例会に提出することとする。

浅野教育長 ありがとう。
職務代理者

大熊教育長 ほかにはよろしいか。
次に、報告事項2、寄附の収受について、お願いします。

本木学務課長 御説明の前に、資料について訂正がある。修正箇所は、表の2段目のマスクケースの欄、数量の項目、94と記載しているが、1,033の誤りである。今後はこのようなことがないよう、お詫びして訂正いたしたい。

令和3年度寄附物品については、資料のとおりである。地域の業者、個人、団体より多くの物品を御寄附いただいた。大変感謝申し上げますとともに、大切にに使わせていただく。

報告事項2についての報告を終わらせていただく。

大熊教育長 寄附があった中で、今年初めに明るい話題でも表彰させていただいたが、東京学芸大学附属中学校に通っている生徒3人より、1,033枚の自作のマスクケースをプレゼントいただいた。マスクケースの素材はどのようなものであったか。

本木学務課長 レジャーシートのような素材であった。

大熊教育長 レジャーシートのような素材でしっかりとした作りであり、感心した。

また、毎年、どの寄附についても感謝しているところであるが、今回は、東京小金井ライオンズクラブからCO2モニターを寄附いただき、各学校に配置することができた。CO2モニターとは、各教室の換気が十分にできているかどうかを調べるもので、換気が十分にできているか、分かるようになった。

また、年度当初に小金井ロータリークラブから、アルコールスタンドを寄附いただき、学校の玄関に設置することができた。子供たちは使わないものの、学校に来る業者や保護者の方が、気軽に使ってもらえるようになり、よかった。

それから、青梅信用金庫が毎年、テントを御寄附いただいている。このテントは、夏の暑いときや運動会時に使用しており、各学校に順次配布していることを報告させていただく。

何か質問はあるか。よろしいか。

それでは、報告事項3に参りたいと思う。小・中学校教育管理職及び教員の異動についてである。よろしく願います。

加藤指導室長 それでは、小・中学校教育管理職及び教員の異動について、御報告をさせていただく。

報告の資料3を御覧いただきたい。

まず、教育管理職についてである。令和4年度は、校長4名、副校長6名が、異動または昇任で新たに着任している。また、同じ学校に引き続きではあるが、校長3名が再任用で着任している。

本市から転出または退職された方については、資料を御確認いただきたい。

次に、教員についてである。転入者は、再任用を除き69名である。うち21名が新規採用者である。期限付採用者の着任はない。

教員不足が話題となる昨今ではあるが、本市においては、小・中学校ともに不足なく教員を配置することができている。

報告は以上である。

大熊教育長

何か質問等はあるか。

それでは、次に参りたいと思う。報告事項4、教育課程の届出報告について報告願う。

向井指導主事

令和4年3月16日に、市立小・中学校14校、全校の令和4年度教育課程を受理した。

配付した資料は、令和4年度教育課程のまとめである。

令和4年度の教育課程編成の重点として、授業改善の推進、教育相談の充実、地域連携の推進の3点としており、各学校の教育課程では、児童・生徒の実態や地域の特色等を踏まえ、この3点について具体的な取組が示されている。

各学校の教育課程編成上の工夫としては、主体的、対話的で深い学びを実現する授業改善を図る学校、ICT機器を効果的に活用した授業の推進を図る学校、不登校・いじめの早期発見・早期対応を進めるため、組織的な教育相談体制を強化し、校内支援体制の充実を図る学校、コミュニティ・スクールとして学校と地域が連携し、開かれた教育課程を推進する学校などが見られる。

今年度も、市立小・中学校においては、学校の教育目標の具現化に向けた特色ある教育活動が展開されることが期待される。

教育委員会としても、校長会、副校長会、教務主任研修会、学校訪問等の機会を活用して、学校指導要領の趣旨を踏まえた教育活動の推進、教育課程の適切な進行管理について、指導を行っていく所存である。

報告は以上である。

大熊教育長

このことについて、何か質問等はあるか。

佐島委員

私はこの3月まで学校にいて、校長という立場で学校運営を行っていた。以前は教育委員会のほうで、学校に指導する立場も経験してきた中で、一番大切に考えているのは、学校が最終的な教育改革の実行者として、主体的に取り組んでいくということである。

そういう観点で、この資料を見せていただいた中で、お伺いしたいことがある。

恐らく教育課程の届出の説明会で、市の重点施策を示し、施策を盛り込むように指導されていると考えているが、先ほど、地域の実態に応じた特色ある教育活動という話があったが、大切な文言がどの学校にも盛り込まれているように見受けられる。例えば、4の学校の教育目標及び基本方針を見ると、大切な項目が、重点項目以外にも、全校に全て盛り込まれている。

そのような中で、学校の主体性はどうなっているのか、疑問を持った。教育委員会として、学校の主体性を発揮させることについて、どのように認識をされているか、また、学校の主体性を発揮するに当たって、どのような配慮をしているか聞かせていただきたい。

また、5の年間授業日数、6の道徳科・学級活動等、7の総合的な学習の時間について、6では学級活動の中学2年生の時数について、学校により標準時数の35時間から52.9時間と1.5倍以上の開きがある。7の時間についても2年生で70時間から90時間と時間数に開きがあるが、これはどういう要因があつて、教育委員会としてはどう認識しているのか教えてほしい。

向井指導主事 まず1点目の、学校の主体性を発揮するため、どのように配慮しているかであるが、佐島委員のお話にあつたように、重点的な目標については教育委員会から、事前の説明会で説明させていただいている。このことから、4の表に表れているものである。

ただし、具体的な取組でどのようなことを行うかということについては、各学校独自に計画していただくようお願いしている。例えば、今年度は環境教育などを取り組んでいただくようお願いしているところであるが、具体的な取組内容としては、南側の学校は野川が近くにあるので、そういったところを活用するであるとか、北側の学校は都立小金井公園などを活用していくなど、各学校で主体的に取り組んでいただくようお願いしている。

また、説明会の中では、子供たちからも意見を聞いてもらい、子供たちが主体になるような取組をお願いし、各学校独自の特色が出るように話をさせていただいている。

2点目の、学級活動等の授業時数の差についてであるが、こちらは、標準的な時数で出している学校もあれば、先ほど言った、特色

ある活動をあらかじめ位置づけていく中で、時間を多く取っている学校等があるので、全体的な総合時数の中でバランスが取れていれば、教育委員会としては受理したところである。

佐島委員 ありがとうございます。今日の資料だけでは分からないので、今後、各学校の様子を直接見せていただき、話を聞かせていただく中で、学校が主体性をどのように発揮しているかを見させていただきたい。また、先ほど各学校で子供たちの意見を取り入れる話があったが、子供たちや教職員の考え方を実際の学校運営に生かしていく取組が進むように、教育委員会としても支援していただきたい。

加藤指導室長 補足させていただく。
主体的に学校が取り組んでいくためには、まずは教育委員会の指導室として、学校と対話をするということを非常に大事に進めている。

指導室からは「指示」のような提示は基本的には行わず、校長先生を中心に対話をしながら、意見をいただき進めている。近年は特にその点を配慮して、進めてきている。

また、学校間でのそれぞれの特色につながると考えているが、学校同士の横のつながりを大事にしたい。近年はコロナ禍でなかなか行いづらかった面があるが、学校間の横の対話ができるように、配慮をしていく方向である。

また、小・中学校の連携として、ICTの活用が進んできているが、進捗状況に学校ごと差が出てきている実態を把握しているので、特に授業を中心に小・中学校の連携について、積極的な対話を進めて、各学校間が主体性を持って取り組めるよう考えている。

佐島委員 指導室長から、大変うれしい言葉を聞かせていただいて、心強く思った。

やはり縦横の連携がすごく大切になってくると思うので、私も今のこの立場で、縦横の連携をより深めるためにどういう働きができるのか、よく考えて、一緒に学校改革を進めていきたい。

大熊教育長 まだ実際には開催していないが、小・中学校連携を具体的に進めるために、校長会の在り方を若干変える予定であり、説明してもら

えないか。

加藤指導室長 数日前に第1回の校長会があり、提案した段階であるが、先ほどの小・中学校連携や横の繋がりを進めるため、今年度、中学校区を一つのまとまりにしながら、校長会の中で、校長同士に、テーマを設定し、対話を通して意見交換をしてもらう。

これまでは、校長会は教育委員会が一方的に話をしてきたが、それだけでは、主体性や活性化という点が乏しかった。そういった点を改善するため、校長会に提案しているところである。

また、校長会だけでなく、副校長会や教務主任と言った様々な職層にも同様な取り組みを進めていこうと考えている。

大熊教育長 今まで校長会は、コの字型で開催していたが、席の配置から考えていきたい。これまでICTの導入等、大きく教育現場が変わってきているが、学校間格差が出てきていると感じている。普段から情報交換ができるようにどのようにしたらよいかを考えていきたい。

限られた時間の中で、校長会がその交流の場になれば良いと考えている。

小山田委員 今の連携の話でいくと、小・中学校の他に、幼・小学校間において、小学校でICT教育が始まることから、今後課題になってくると思うので、よろしく願います。

大熊教育長 幼稚園・保育園・小学校の連携ということか。

小山田委員 そうである。幼保・小学校の連携である。

向井指導主事 ご指摘頂いたとおり、幼保・小学校の連携もとても重要なことから、教育課程を受理するときも、幼稚園や保育園と連携していただき、情報を共有するように、各校にはお願いしている。

今年度もお願いしており、次年度以降も連携をしっかりと図っていきたい。

大熊教育長 佐島委員のご指摘のとおり、特色ある教育活動という点では、今までは全てをしっかりとやることを大事にしてきた。しかし、学校独

自の特色ということを見ると、教育活動の中でどこに特色を出していくのか、印をつけて明確にしてもよいと考えるが、佐島委員はいかがか。

佐島委員 教育長がおっしゃるとおりで、教育委員会としての方向性はしっかり示しつつ、大事なことを各学校が押さえていくというのは大切である。しかし、その中でも、各学校で重点に取り組むことを明確に示していく。

また、外部に発信することによって、教員も意識し、子供も意識する環境が生まれ、学校の特色が生まれてくると思うので、ここだけはというところに印をつけて、分かるような形で示していくということは、今後考えていいと思う。

大熊教育長 現時点でも各学校には特色があるものの、来年度については今の述べられたことを参考にそれぞれの特色が見られるような教育課程の届出を検討していきたいと考えている。

しっかりと教育課程を決めることができよかつたと思う。

次に、報告事項5、その他である。

学校教育部から報告事項があれば、発言願う。

大津学校
教育部長 特にない。

大熊教育長 次に、生涯学習部から報告事項があれば、発言願う。

梅原生涯
学習部長 特にない。

大熊教育長 各委員からは何かあるか。

穂坂委員 医師会として、報告させていただく。

小金井市は、小金井市医師会と市との連携がよく取れており、新型コロナウイルスの予防接種について、昨年5月から高齢者から集団接種が始まり、集団接種に加えて、医療機関での個別接種をしてきた。

今年3月末ぐらいから3回目の接種が始まって、かつ3月12日からは、5歳から11歳までの接種が順次進んでいる。先週の土曜日の段階で、2回目の接種の方が400人ぐらいおり、接種が進んでいる。

ただし、割合ではまだ不十分なため、接種割合をあげていく必要がある。

ワクチンの予防効果については、正確には何年後かにならなければ結果が分からない。今、コンセンサスが得られているものは、重症化予防には効果があるということなので、ぜひワクチン接種を考えていただければと思っている。

大熊教育長 ありがとう。医師会と教育委員会も、今後もしっかりと連携を図って、子供たちの安全を確保していきたいと考えている。今後も、専門的な立場から御意見をいただければと思うが、一言お願いします。

穂坂委員 私ができる限りのことはさせていただきたいと思うので、よろしくお願いします。

大熊教育長 ワクチン接種だけではなくて、これから様々な問題を教育委員会としても考えなければいけない。その際には貴重な御意見をいただければと思うので、どうかよろしくお願いします。

穂坂委員 はい。

大熊教育長 ほかに、その他はないか。よろしいか。
次に、報告事項6、今後の日程について、事務局より報告願う。

小平庶務係長 それでは、教育委員会の今後の日程について、御報告する。
東京都市町村教育委員会連合会第1回理事会が、4月22日、金曜日、午前11時から、東京自治会館で開催される。
続いて、教育施策連絡協議会が、4月中にオンデマンド配信される予定である。
続いて、第5回教育委員会定例会が、5月10日、火曜日、午後1時30分から、第二庁舎8階801会議室で開催する。
続いて、東京都市町村教育委員会連合会第66回定期総会が、5

月10日、火曜日に書面開催される。

続いて、第6回教育委員会定例会が、5月24日、火曜日、午後1時30分から、第二庁舎8階801会議室で開催する。

続いて、関東甲信越静市町村教育委員会連合会（栃木大会）が、5月27日、金曜日に書面開催される。

続いて、第7回教育委員会定例会が、7月12日、火曜日、午後1時30分から、第二庁舎8階801会議室で開催する。

それぞれ御出席をお願いする。

なお、新型コロナウイルス感染症の状況により、予定を変更する場合があります。その際、市民の皆様へは、ホームページ等で御案内させていただきます。

今後の日程は以上となる。

大熊教育長

ただいまの御報告に関し、何か質問等はあるか。

以上で、本日の日程は全て終了した。

これをもって、令和4年第4回教育委員会定例会を閉会する。

閉会 午後2時26分